

4. 史 学 科

史学科は、文字資料ならびに考古資料・文化遺産・文化景観などの非文字物質資料を駆使して過去の人間社会・文化とその歴史を明らかにし、歴史遺産の継承と活用を通じた社会と文化の豊かな創造を追究するとともに、研究・分析の過程で修養される「歴史的思考」を身につけた、社会に有用な人材を育成することを目的とする。

史学科には「日本史学」「外国史学」「考古学」「地域文化と景観」の4つのコースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修法が異なる。史学科の専門教育の基幹となる3・4年次の演習は、きめ細かい指導を徹底するため定員制をとる。また各コースには、将来の進路設計によって Standard Career Program (S-プログラム) と Professional Career Program (P-プログラム) が用意されており、両プログラムごとに履修すべき科目が異なっている。学生は、自分の興味・関心にしたがっていずれかのコースを選択し、かつ将来どのような職業に就きたいかという観点からどちらかのプログラムを選択し、履修規程にもとづいて単位を修得しなければならない。

また、さまざまな言語で書かれた史料や論文の読解に加え、国際的な発信力とコミュニケーション能力を修養することが、これからの史学科学生にとって必須の資質になるとの教学方針から、選択必修外国語(第二外国語)を課している。

受講キャンパス

【1 年 次】

教養総合科目の必修外国語、スポーツ・身体文化IA・IBは週1回横浜たまプラーザキャンパスで受講するが、それ以外の科目は両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できる。

【2・3・4年次】

専門教育科目は渋谷キャンパスでのみ開講されるため、主に渋谷キャンパスでの受講となるが、それ以外は履修規程に従い、両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できる。ただし、教養総合科目の必修科目は、夜開講時間帯での受講はできない。

史学科の4コース

日本史学コース

日本の古代から近現代に至る各時代の史実とその意義を、厳密な史料批判にもとづいて研究し、それぞれの時代における政治・社会構造や文化の歴史的特質などを明らかにするための知識や方法論を身につける。

外国史学コース

朝鮮半島から北アフリカ(イスラム時代以後)までの各地域(いわゆる東洋)と、ヨーロッパからアメリカまでの各地域(いわゆる西洋)の歴史を研究対象とし、語学の修得を基礎としてその政治・社会構造や文化の歴史的特質などを明らかにするための知識や方法論を身につける。

考古学コース

考古学の方法論や発掘調査法などの実践的な知識・技術を学び、遺跡や出土遺物などの物質資料から過去の人類文化とその歴史を読み解くための視座と方法を身につける。なお所定の単位を修得することにより、考古調査士資格認定機構による「考古調査士2級」資格を取得できる。

地域文化と景観コース

歴史の痕跡を深く刻み込んだ文化財や絵図・古地図、地名や景観、地域の信仰や芸能などの調査・分析を通じて、風土と歴史の中で培われてきた地域固有の文化を多面的に究明し、地域文化を将来に継承してゆくための知識と方法論を身につける。

2つのプログラム

ここでいうプログラムとは、上記の4コースとは別に、将来どのような職業に就きたいかという観点から学生自身が選択するカリキュラム群で、両プログラムは卒業に必要な科目に相違はあるものの、両者のあいだに優劣や難易の別はなく、演習などの授業も両プログラム合同でおこなわれ、いずれも卒業論文が課せられる。

Standard Career Program

(S-プログラム)

特定の時代や地域にとらわれず、歴史学を幅広く学んで人生に活かし、将来は公務員や一般企業への就職を考えている学生のためのカリキュラム群で、歴史学の専門科目のほかに、社会人の素養となる語学や社会科学系科目(法学、経済学など)を数多く履修するプログラムとなっている。このプログラムでも、教員免許・学芸員資格などの取得は可能である。

Professional
Career Program
(P-プログラム)

大学院への進学、もしくは教職・学芸員など専門職を目指している学生のためのカリキュラム群で、幅広くしっかりとした歴史の専門知識を修得できるよう、専門科目の必修科目と選択必修科目から 52 単位以上を履修することになっている。このプログラムでは、教員免許または学芸員資格の取得を学生に推奨しており、それに適したカリキュラムが組まれている。

コースと
プログラムの選択

【コースの選択】

コースの選択は、3 年次の前期履修登録時に K-SMAPY にて行う。それ以降に変更の希望があった場合は、教務委員及び指導教員との面接によって決定する。コースの最終的な決定は 4 年次の前期履修登録時となる。なお、卒業論文の作成上、3 年次と 4 年次のコースは同一が望ましい。

【プログラムの選択】

プログラムの選択は、2 年次の前期履修登録時に行い、原則として 3 年次の前期履修登録時のみ変更可能である。なお、プログラムの選択及び変更手続きは、3 年次前期履修登録時までには K-SMAPY、それ以降に変更を希望する場合は、教務委員及び指導教員との面接によって決定する。

カリキュラムの
構成と履修方法

- 1) 必修科目 28 単位 (卒業論文 8 単位を含む)
史学科共通の必修科目 (必ず履修しなければならない科目) 群で、「史学入門 I・II」「史学導入演習」「史学基礎演習 A・B・C」「史学展開演習 I・II」「史学応用演習」「演習・卒業論文」がこれに該当する。「史学展開演習 I・II」と「史学応用演習」は、卒業論文の作成上、同一教員による指導が望ましい。また「史学基礎演習 A・B・C」「史学展開演習 I・II」「史学応用演習」は、シラバスの「講義題目・テーマ」で示される内容が異なる場合には、教員の許可を得て複数受講することができる。
- 2) 選択必修科目……………S-プログラム 16 単位、P-プログラム 24 単位以上
史学科の学修にとって基本となる選択必修科目群である。「概論」科目から自分のコースの 2 科目 4 単位以上を含め 4 科目 8 単位以上、「コース科目」から S-プログラムは各コースから 2 単位ずつ修得し合計 8 単位、P-プログラムは**自身の選択している**コースから 12 単位を含み 16 単位以上を修得しなければならない。
- 3) 選択科目……………S-プログラム 20 単位以上、P-プログラム 12 単位以上
自由に選択できる選択科目群で、次の 2 つのカテゴリーからなる。I 類は史学科の専門科目、II 類は史学科以外の専門科目である。ただし、S-プログラムは II 類 (史学以外の科目) から **12 単位以上**を修得しなければならない。

定員制の演習 (ゼミ)

3 年次の史学展開演習 I・II、4 年次の史学応用演習は、演習発表や卒業論文中間発表など学生自身による研究発表と討論を中心に進められ、履修者数が極端に多くなると授業が成り立たないため、各ゼミ 20 人程度の定員制とする。史学展開演習 I・II は 2 年次の後期に開くガイダンスで事前登録を行う。

考古調査士資格
について

考古調査士資格とは、遺跡発掘調査にあたる調査士の資格で、全国の大学・研究機関共通の統一的な資格審査機構である「考古調査士資格認定機構」が授与する。本学は同機構に加盟しており、所定の科目を履修し単位修得した学生は、考古調査士資格 (2 級) を申請・取得できる。

	授 業 科 目	開講	単 位	開講学年				考古調査士(注)	備 考
				1	2	3	4		
必修科目	史学入門 I	半期	2	○					卒業論文を含め、10科目28単位必修 ※「史学展開演習 I・II」は原則的に同一指導教員のコマを履修
	史学入門 II	半期	2	○					
	史学導入演習	半期	2	○					
	史学基礎演習 A	半期	2	○					
	史学基礎演習 B	半期	2		○				
	史学基礎演習 C	半期	2		○				
	史学展開演習 I	半期	2			○	◎ II		
	史学展開演習 II	半期	2			○	◎ II		
史学応用演習	通年	4				○			
演習・卒業論文	通年	8				○			

※28単位以上修得した場合は、超過修得単位を選択科目の単位として卒業要件単位に算入できる。

	授 業 科 目	開講	単 位	開講学年				考古調査士(注)	備 考
				1	2	3	4		
選択必修科目	概論科目	日本史概論 I	半期	2	○				自身の選択しているコースの 「概論」2科目を含め4科目8単位
		日本史概論 II	半期	2	○				
		東洋史概論 I	半期	2	○				
		東洋史概論 II	半期	2	○				
		西洋史概論 I	半期	2	○				
		西洋史概論 II	半期	2	○				
		考古学概論 I	半期	2	○			△ I	
		考古学概論 II	半期	2	○				
選択必修科目	日本史学コース	日本時代史 I	半期	2	○				【各コース共通】 S-プログラムは各コースから2単位ずつ8単位。 P-プログラムは自身の選択しているコースから12単位。 全体で16単位。
		日本時代史 II	半期	2	○				
		日本時代史 III	半期	2	○				
		日本時代史 IV	半期	2	○				
		日本時代史 V	半期	2	○				
		日本時代史 VI	半期	2	○				
		日本時代史 VII	半期	2	○				
		日本時代史 VIII	半期	2	○				
史料講読	通年	4		○					
選択必修科目	外国史学コース	東洋地域史 I	半期	2	○				【各コース共通】 S-プログラムは各コースから2単位ずつ8単位。 P-プログラムは自身の選択しているコースから12単位。 全体で16単位。
		東洋地域史 II	半期	2	○				
		東洋地域史 III	半期	2	○				
		東洋地域史 IV	半期	2	○				
		西洋地域史 I	半期	2	○				
		西洋地域史 II	半期	2	○				
		西洋地域史 III	半期	2	○				
		西洋地域史 IV	半期	2	○				
外書講読	通年	4		○					
選択必修科目	考古学コース	考古学各論 I	半期	2	○			△ III	
		考古学各論 II	半期	2	○			△ III	
		考古学各論 III	半期	2	○			△ III	
		考古学各論 IV	半期	2	○			△ III	
		考古学各論 V	半期	2	○			△ III	
		考古学各論 VI	半期	2	○			△ III	
選択必修科目	地域文化コース	地域文化各論 I	半期	2	○				
		地域文化各論 II	半期	2	○				
		地域文化各論 III	半期	2	○				
		地域文化各論 IV	半期	2	○				
		文化景観各論 I	半期	2	○				
		文化景観各論 II	半期	2	○				
		地域・景観調査法	通年	4		○			

次ページに続く

※規定単位以上修得した場合は、超過修得単位を史学科専門科目の単位として卒業要件単位に算入できる。

	授業科目	開講	単位	開講学年				考古調査士(注)	備考
				1	2	3	4		
選 択 科 目	I 類 (史 学 科 専 門 科 目)	江戸東京の歴史	半期	2	○				
		渋谷の歴史	半期	2	○				
		有職故実Ⅰ	半期	2		○			
		有職故実Ⅱ	半期	2		○			
		史学情報処理初級	半期	2	○				
		史学情報処理中級	半期	2		○			
		史学情報処理上級	半期	2		○			
		古文書学Ⅰ	半期	2		○			
		古文書学Ⅱ	半期	2		○			
		史料管理・保存論Ⅰ	半期	2		○			
		史料管理・保存論Ⅱ	半期	2		○			
		文化財行政論	半期	2		○			△V
		考古科学	半期	2		○			△VI
		文化財科学	半期	2		○			
		地域文化資源論	半期	2		○			
		地域文化財資料論	半期	2		○			
		絵図古地図研究	半期	2		○			
		環境史・災害史	半期	2		○			
		日本文化史Ⅰ	半期	2		○			
		日本文化史Ⅱ	半期	2		○			
		美術工芸史	半期	2		○			
		歴史考古学Ⅰ	半期	2		○			△III
		歴史考古学Ⅱ	半期	2		○			
		外国考古学Ⅰ	半期	2		○			
		外国考古学Ⅱ	半期	2		○			
		文化人類学Ⅰ	半期	2		○			
		文化人類学Ⅱ	半期	2		○			
	人文地理学	半期	2		○				
	自然地理学	半期	2		○				
	地誌学	半期	2		○				
	日本史特殊講義	半期	2			○			
	東洋史特殊講義	半期	2			○			
	西洋史特殊講義	半期	2			○			
考古学特殊講義	半期	2			○				
地域文化と景観特殊講義	半期	2			○				
II 類 (他 学 科 専 門 科 目)	倫理学A	半期	2	○					
	倫理学B	半期	2	○					
	哲学概論A	半期	2		○				
	哲学概論B	半期	2		○				
	宗教学	通年	4	○					
	国際法の基礎	半期	2		○				
	国際政治A	半期	2		○				
	国際政治B	半期	2		○				
	政治学概論	半期	2			○			
	社会学A	半期	2			○			
	社会学B	半期	2			○			
	心理学A	半期	2			○			
	心理学B	半期	2			○			
	世界の経済	前後	2	○					
	会社入門	前後	2	○					
	社会経済学入門	前後	2	○					
	社会保障の基礎	前後	2	○					
	財政の基礎	前後	2		○				
	金融の基礎	前後	2		○				
	地域と行財政	前後	2		○				
	地域と経済	前後	2		○				
	マーケティングの基礎	前後	2		○				
	国際経済	前後	2		○				
	憲法	通年	4		○				
公共部門と財政	前後	2		○					
経済原論	前後	2		○					
民法Ⅰ	前後	2			○				
商法Ⅰ	前後	2			○				
少子高齢社会と社会保障	前後	2			○				

【各コース共通】
S-プログラム…20単位。
※II類(史学以外の科目)から
12単位以上を修得すること。
P-プログラム…12単位

※シラバスの内容により複数履修可
※シラバスの内容により複数履修可
※シラバスの内容により複数履修可
※シラバスの内容により複数履修可
※シラバスの内容により複数履修可

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。
(注) 考古調査士資格2級(考古調査士資格認定機構公認)取得に必要な科目(「史学展開演習Ⅰ・Ⅱ」は考古学コース用に限定)
◎: 必修科目 △: 選択科目 資格取得に必要な単位: I~VIの科目群のうち3群以上の5科目以上